

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和6年3月5日 NO.23



# ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校  
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

## ◇卒業生を祝う会◇2/27(火)

「卒業を祝う会」。テーマ「みんなで ふみだせ Road to the future」でした。粟ノ保っ子達は、どの学年も「6年生への感謝」を表しながら、工夫を凝らしての出し物ばかりで大変感心しました。



まず初めに、毎日の登校の安全安心をして頂いている「見守り隊」の方へ感謝の気持ちを込めて児童より花束の贈呈式を行いました。

運営は5年生が主体的に動きました。

ゆずの「栄光の架け橋」の歌を選曲し振り付けも考えて、全校で合唱しました。卒業生も中学校へ向けて、不安もある中ですが在校生の出し物で大いに笑える時間を過ごしましたね。

職員の出し物は、粟ノ保6年生とバスケットでフリースローを勝負しました。結果は5-2で6年生の勝利でした。先生方も楽しみました。



さて、最後に校長の挨拶です。

「卒業を祝う会」は大満足でした。各学年の思いが詰まった、6年生への感謝が表れていました。工夫が見られました。残りわずかになった小学校生活です。羽咋中学校入学へ向けがんばってほしい。「明日」という字は「明るい日」と書きます。明日の明日は「もっと明るい」です。卒業生の皆さん、活躍をお祈りします。

裏面あります

## ◇避難訓練：放射能◇2/20(火)

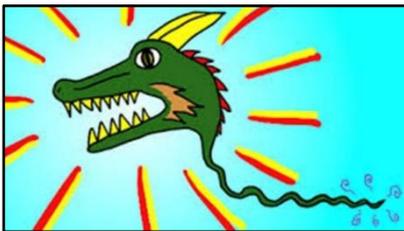
今回は志賀原子力発電所からの「放射線漏れ」に関わっての訓練でした。今回は、長休み時間中に放送を聞いて、担任が誘導しない形で計画しました。放射線は、目に見えないし、匂いもしません。屋外にいる場合は、屋内に入り窓を閉めること。手洗い、うがい、服も着替えてナイロン袋に入れて口を縛ることも伝えました。ひどい場合は、避難するわけですが「羽咋市の皆さんはどこへ避難するのか」教えました。これは市ホームページに載っています。保護者の皆さんも確認しておくといのではないのでしょうか。避難先は、町別単位で移動となるようです。「自分の命は自分で守る」ことが大切です。

新保町、粟生町、粟原町、土橋町→金沢市立緑中学校  
立開町→石川県立保育専門学校  
兵庫町→石川県立金沢中央高等学校



## ◇全校集会：校長の話◇3/4(月)

3月「有終の美」の話をしました。最後を立派にしめくくるという意味です。その反対の言葉として「竜頭蛇尾（りゅうとうだび）」を紹介し、初めは勢いがあるけれど最後には息切れしてしまうことを話しました。徒然草からの引用で「高名の木登り」。



高名の木登りとは、木登りの名人という意味です。木登りの名人が、弟子を使って高い木の枝を切らせていました。木登り名人は、弟子が高いところで枝を切っている仕事をだまって見ていました。やがて、弟子が枝切りを終わって、木をおりてきます。その様子もだまって名人は見守っています。



そして、あと少しで降りられるの高さまで来たときに、初めて声をかけます。

その言葉は、「あやまちすな。心しておりよ。」です。

意味は・・・あやまちすな→まちがえないように、心しておりよ→気をつけておりなさい

それを聞いた弟子は、こんな低い高さなら大丈夫。とびおりることもできるのに。

★どうして最後の最後に名人はこんな声をかけたのですか？

「高くて本当に危ない時には、人はだまっていても怖がり気をつけるものです。まちがいは、簡単などころで、かならず起きるのです。」「油断」にも似ていますね。このお話は、簡単に思えることこそ気を抜かずにしっかりと行いなさい、と教えてくれています。